

2022.4

Library News vol.81

先生のオススメ本 / 体験型プロジェクト in 図書館

発行 名古屋経済大学図書館

先生の オススメ本！

『with you (ウィズ・ユー)』

濱野 京子著（くもん出版）2020

「ヤングケアラー」がテーマの小説です。ヤングケアラーとは、病気・障害のある家族や幼齢のきょうだいのために家事や育児、介護などのケアを担う18歳未満の子どものことです。

その問題点についてはぜひ本書を読んで理解を深めてほしいですが、「家族をケアするのが当たり前」と考えているために自らの生きづらさや不自由さを本人が自覚できず、支援を求められずに孤立していることがもっとも深刻です。国の調査では20人に1人がヤングケアラーに該当するようですが、本書のように本人が自覚していない事例も多く、まだまだ実態をつかみ切れていないのではないかと感じてしまいます。

私が担当する『社会政策と社会保障』という科目でもヤングケアラーを紹介していますが、他のテーマよりも反響が大きい気がします。「超」がつくほどの少子高齢化社会を生きる皆さんにとって、ちょっとした環境の違いによって自分が、あるいは周囲の誰かがヤングケアラーだったかもしれないと切実に感じることができる社会問題の一つかもしれません。



経済学部
木村 牧郎 准教授

『チーズはどこへ消えた?』

スペンサー・ジョンソン著（扶桑社）2000

「チーズはどこへ消えた?」は世界中で企業が研修に利用しているベストセラーです。

ある迷路に住む2匹のネズミの「スニッフ」と「スカリー」、小人の「ヘム」と「ホー」は大好きなチーズを発見しますが、突如チーズが消えてなくなりました。ある者はチーズ探しの旅に出ます。ある者はその場にとどまります。さて、彼らはチーズを手に入れることができましたでしょうか？

この物語でチーズは人生のさまざまなシーンで私たちが求めるものの象徴です。迷路での旅は人生に訪れるいろいろな変化を表しています。一気に読むことのできる短編ですが、この本から前向きな気持ちや人生のヒントを得ることができるでしょう。将来、ビジネスの世界に羽ばたくあなたにパワーを与えてくれること間違いありません。

「チーズはどこへ消えた?」を読み終えたら、きっと続編「迷路の外には何かがある?」も読みたくなりますよ。



経営学部
山住 富也 教授

ご紹介している資料は、図書館3階で展示しています。

『LIFE SHIFT (ライフシフト) : 100年時代の人生戦略』

リンダ・グラットン、アンドリュー・スコット著（東洋経済新報社）2016

あなたは自分の人生をどう思い描いているだろうか。

おそらく多くは、学生として学ぶ「教育」、社会に出て働く「仕事」、および定年退職して老後を過ごす「引退」という人生の3つのステージを思い浮かべられるだろう。終身雇用、年功序列の企業風土が一般的な日本では、65歳で定年退職し「引退」することが多いのもその背景にある。

もっとも、人間の長寿化は確実に進行しており、国連の推計によれば2050年までに日本の100歳以上の人口は100万人を突破するという。このように誰もが100年以上を生きる可能性を有する時代にあって、従来型の3つの人生ステージ枠にとらわれない学び方、働き方、よりよい生き方を選択し、いかに自己の人生を充実させていくのか。本書の核心的テーマはまさにこの点にある。



法学部
白出 博之 教授

『生徒が自分たちで強くなる部活動指導 : 「体罰」「強制」に頼らない新しい部活づくり』

神谷 拓著（明治図書出版）2016

日本では中学生の約7割が運動部活動に所属しています。野球やサッカー、バスケットボールやバレーボールなど、様々な競技・種目がありますが、それらの指導にあっている先生方は、必ずしもそのスポーツを経験している人であるとは限りません。このことは、運動部活動では、その競技・種目の技術や体力を獲得することがメインのねらいではないということを物語っていると言えます。では、運動部活動は何のためにあるのでしょうか。

本書は、バレーボールの経験しかない主人公「若手教員・たかし先生」が、赴任校で野球部の顧問になってしまい、困ってしまうところから始まります。読者は、たかし先生が抱える困難や疑問を追っていきながら、「部活動では何が学ばれるのか」、「そもそも『部活動』とは何か」などについて考えることで、日本特有と言っても良い運動部活動文化を問い直し、新しい視点を獲得できると思います。



人間生活科学部
久我 アレクサンデル
准教授

Information

■データベースを新たに契約しました！

図書館では4月から新聞記事が検索できるデータベース『中日新聞・東京新聞記事データベース』『毎索』、法律関係のデータベース『官報情報検索サービス』『HeinOnline』の4種類を新たに増やしました。更に、『日経テレコン』の同時アクセス数を1→5に増やし、学外（自宅等）から利用できるようにしました。就職活動の情報収集やレポートの作成などにも是非活用してください。利用は図書館ホームページ＞データベースからできます。

*学外（自宅等）からの利用は、データベースのページを確認してください。



データベースへ

■ライブラリーバッグが利用できます！

昨年の12月にライブラリーバッグのデザインを皆さんに投票してもらった結果、犬山をイメージしたイラストに決まりました！裏面には犬のイラストをワンポイントにし、お好みに合わせて裏表どちらでも使えるものを作成する予定です。バッグは紙芝居も入る大きさのため、保育実習やレポート作成などで本をたくさん借りるときに使ってくださいね♪

*ライブラリーバッグの完成は前期授業中を予定しています。



裏面は本を読んでいる犬のイラスト



名古屋経済大学のキャンパスと犬山の町並みをイメージしたデザイン

ご入学＆新学年
おめでとうございます！

図書館を更に使いやすくするため、
ご意見・ご要望はお気軽に
お寄せください！

Library News 発行日 2022.4

vol.81 (図書館だより) 発行回数 年2回

名古屋経済大学図書館

〒484-0000 愛知県犬山市字樋池 61-22

TEL: 0568-67-3798 / FAX: 0568-67-9321

E-mail: toshokan@nagoya-ku.ac.jp

URL: <http://www.wopac.nagoya-ku.ac.jp/>

体験型プロジェクト in 図書館

2021/9/21～2022/1/11に、図書館で9名の学生が法学部の清水先生と経済学部の佐藤純恵先生が担当する体験型プロジェクトを受講しました。体験型プロジェクトは通常の講義形式ではなく、実際に体験して学びを得る本学独自の科目です。

展示 in 犬山市立図書館



犬山市立図書館で本の展示をしました。

2つのチームに分かれて、展示のテーマを考え、それに合わせた資料を探し、資料を紹介するPOPを作成、飾りつけまで行いました。

テーマはそれぞれ『秋に行くなら』『しょくよくのあき』です。公共図書館の利用者を想定しながら、どんな資料なら手に取ってもらえるのか考えたり、飾りつけに秋らしい色を使ったり、折り紙で紅葉やどんぐりを作ったりと工夫を凝らしていました。

ビブリオバトル in 名古屋経済大学



体験型プロジェクト後半は名古屋経済大学図書館でビブリオバトルの企画運営をしました。ビブリオバトルとは本の紹介コミュニケーションゲームです。

発表者が読んで面白いと思った本を持って集まり、5分で紹介、3分でその発表に関するディスカッションを行い、全ての発表が終了した後に「どの本が一番読みたくなったか」を基準に投票を行い『チャンプ本』を決めます。

イベントを開催するために自分たちで役割を決め、開催場所を確保したり、学内で参加者を集めるため、ポスターの作成や宣伝をしたりと頑張りました。



体験型プロジェクトを終えて

最後に、体験型プロジェクトを受講した学生に印象的だったことや感想などを聞きました。

- ・さらに読書が好きになった
- ・本とたくさん触れ合ったことで本を読むことが増えて考え方の幅が広がった
- ・本を通して体験型の人達と仲良くなることもできたので、本の力はすごいなと思った
- ・ビブリオバトルで本の紹介をしながら話すのはとても難しかった
- ・実際にPOPを作って図書館に飾るまでの工程をやれたことは印象的だった
- ・本を少しずつ読んだり買うことが増えた など（一部抜粋）

とても前向きな意見や感想が多く、この授業を通して学んだことを活かしてもらえたらいいなと思います。

体験型プロジェクト（図書館）は2022年度も開講予定です。図書館や本に興味がある、体験型プロジェクトを通して仲間と企画の立案や実施をしてみたいという学生さんにおすすめです。